

【府内におけるがん患者の現状】

- 大阪府では、平成 21 年の悪性新生物 75 歳未満年齢調整死亡率（人口 10 万対）が 93.8 人と、全国平均の 84.4 人と比べて約 10 ポイント高く、この原因の一つには市町村がん検診事業の対象となっている 5 がん（肺・胃・大腸・乳・子宮）の検診受診率が著しく低いことがある。（表 1）

（表 1）悪性新生物 75 歳未満年齢調整死亡率の状況（人口 10 万対）

区 分	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
全国平均	92.4 人	90.0 人	88.5 人	87.2 人	84.4 人
大阪府 (全国での順位)	101.8 人 (45 位)	98.9 人 (45 位)	97.3 人 (44 位)	95.9 人 (44 位)	93.8 人 (46 位)

資料：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

（参考 1）平成 19 年国民生活基礎調査による都道府県別がん検診受診率

大阪府の検診受診率の状況（全国順位）

【胃がん】	47 位	【肺がん】	46 位	【乳がん】	45 位
【大腸がん】	43 位	【子宮がん】	43 位		

資料：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター